



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和2年師走 1日
第15号
校長 矢野 晴一

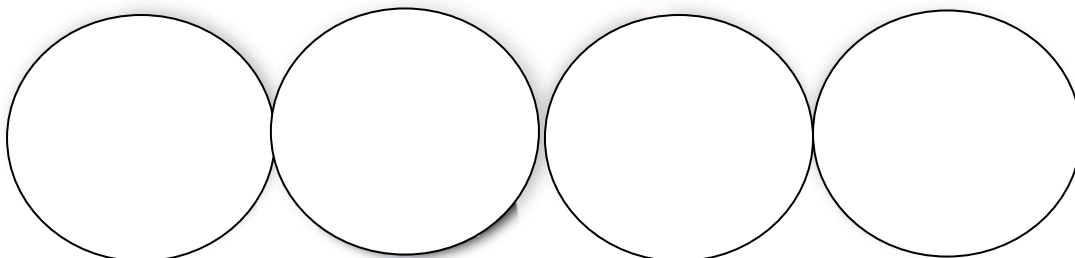
学校教育目標:「目的意識をもって自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒の育成」

「新しいリーダーたちの誕生！」～ 令和3年度生徒会役員選挙 ～

令和3年度 大原中学校 生徒会役員 (敬称略)

会長

副会長



こころざし 熱き思いを 胸に秘め
仲間とともに 歩みはじめる 晴一

11月18日(水)、来年度のリーダーを決める生徒会役員選挙が行われました。

立会演説会は、例年のように体育館で行うことができないため、放送という形で会長候補ならびに副会長候補の子どもたちが、立候補した理由や自らの抱負を堂々と述べました。その後、投票、開票が行われ、令和3年度の大原中学校生徒会を牽引する新役員が決定しました。

新役員の子どもたちは、今、「選出された喜び」と「責任の重さ」を身にしみていることだと思います。「前進」を柱にして「つながり」を大切にしながらさまざまな場面で頑張ってきた令和2年度生徒会の志を受け継ぎ、発展させることができるように、また、「こんな生徒会をつくりたい」「こんな大原中にしていきたい」という抱負を「初心」として、すてきな学校を創りあげてくれることを期待します。

これまで選挙活動を支えてくれた選挙管理委員のみなさんに心からお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。

【新生徒会長の抱負】

新生徒会長になりました 晴一 です。僕のめざす大原中学校は、「**活気があふれて想いやりがあ**り、**誰もが通えてよかったと思うことのできる学校**」です。それを実現するためには、まずは自分が行動しなければなりません。みんなの先頭に立ち同じ方向へ進めるように引っ張っていくのが役目であり使命であると思います。制限される状況も続いており、どんな困難が待っているかわかりませんが、自分の**やるべきことと本気で向き合っていきます**。一年間よろしくお願ひします。

「野球部 大舞台で躍動！」～ 中体連福岡県新人野球大会開催 ～

11月28日(土)、京都郡苅田町臨海総合グラウンドにて福岡県中学校新人野球大会が開催されました。

会場が遠いため早朝5時30分学校出発という難しいコンディションの中、子どもたちは元気に自分たちのもてる力を発揮し、初戦を3-0で勝利しました。次の準々決勝は、惜しくも0-3で敗れましたが、初冬の冷たい風が吹く中、**勝利をめざして全力を尽くした子どもたちの奮闘**と**これまで積み重ねてきた努力の日々**を心から称えます。

「体験を通して感じる、考える、そして行動へ！」

～ 防災訓練：地震体験の学び ～



11月14日(土)、本来ならば大原中校区人権のまちづくり主催で「リバティブェスタ」が行われるはずの日でしたが、本年度は感染症拡大予防のため中止となりました。

本年度は、この日を土曜授業として消防署に協力をいただき、「地震体験」を行いました。

震度7を体験した子どもたちからは、「怖かった」「家の中でこんなに揺れたら何もできない」「三年前の熊本地震を思い出しました」などの感想が聞かれました。私も震度7を体験してもらいましたが、実際に怖い思いをした平成17年3月の福岡西方沖地震の時のことや平成28年4月の熊本地震の時のことが脳裏に浮かびました。

体育館では、地震を想定した防災の講話がありました。みな真剣に話を聴くことができていました。お話の中にあつた「**住まいに耐震化があるように、心にも耐震化が必要である。「命を守る行動、そのための知識、そして行動力が大切**」という言葉が心に残りました。

日常の暮らしの中で忘れがちになってしまう防災意識、東日本大震災の被害や熊本地震の被害からの復興もいまだ半ばであることもふまえ、日ごろからの防災についての意識をもち続けることが大切だと痛感しました。

「人権についていっしょに考えましょう！」 小郡市統一公開日

小郡市の統一公開日として11月28日(土)、検温や消毒等に細心の注意を払いながら、「人権学習」の授業公開と「人権についてともに学ぶ」学級分会を行いました。

本年度はじめての参観ということで、たくさんの保護者のみなさまから「**学校での子ども様子がわかってよかった**」「**先生とお話できてよかった**」等の声をいただきました。

【保護者のみなさまからいただいた感想・ご意見】

- 日頃の「あたりまえ」に感謝するとともに、自分の「あたりまえ」を人に求めてしまうことの不自然さに気づける人でありたいと思いました。
- 子どもにとって身近な話題を通して考えることができてよかったと思いました。
- みんながコミュニケーションをとりにくい時だからこそ、このようにみんなで考える学級分会が必要だと感じました。
- 「SNS」のような不安が多い中で、子どもたちにどう伝えていくべきか、あらためて考えさせられました。



小さいけれど大きな感動 …その16 「団体戦で乗り越えよう！」

朝、教室を見に行くと、3年生の数名が早めに登校して勉強している姿に出会います。その姿は、朝の日の光を受けてとても輝いて見えます。

あらためて数えてみると、私立高の一般入試が始まるまでおよそ64日、**1日30分の小さな取組の積み重ねは、何と32時間の学習時間を生み出す**ことになります。まさに、合言葉である「**積小為大**」「**つながり**」の姿だと思いました。「**受験は団体戦!**」、一人ではなかなか進まないときに励まし合う友の存在はかけがえのない宝物だと思います。

不安や迷いもあると思いますが、この大切な仲間とともに乗り越えてほしいと心から願っています。

